

## 富山県におけるミシシippアカミミガメの分布

南部久男<sup>1)</sup>・福田 保<sup>2)</sup>・森 大輔<sup>3)</sup>・澤田研太<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>富山市科学博物館 〒939-8084 富山市西中野町1-8-31

<sup>2)</sup>〒939-2187 富山市猪谷1541

<sup>3)</sup>富山市ファミリーパーク 〒930-0151 富山市古沢254

<sup>4)</sup>〒930-0116 富山市追分茶屋90-1

### Distribution of red-eared slider in Toyama Prefecture, central Japan

Hisao Nambu<sup>1)</sup>, Tamotsu Fukuda<sup>2)</sup>, Daisuke Mori<sup>3)</sup> and Kenta Sawada<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakanomachi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan

<sup>2)</sup>1541 Inotani, Toyama-shi, Toyama 939-2187, Japan

<sup>3)</sup>Toyama Municipal Family Park Zoo, 254 Furusawa, Toyama-shi, Toyama 930-0151, Japan

<sup>4)</sup>90-1 Oiwakejaya, Toyama-shi, Toyama, 930-0116, Japan

要約：既存の報告書等から近年の富山県内のミシシippアカミミガメの生息状況を調査した結果、小規模な水域では計37地点で、大きな水域では、常願寺川、神通川、小矢部川の下流域、庄川中流域で生息が確認された。県東部（常願寺川以東）での記録は少なく、県西部は広い範囲から確認でき、大部分が平地からの記録であり、人が遺棄し易い場所が確認地点となっていると推測された。

### はじめに

北アメリカ原産の外来種であるミシシippアカミミガメ（以下アカミミガメとする）の富山県内の全県的な生息状況は不明である。そのため、既存の報告から、現時点でのアカミミガメの生息状況をまとめたので報告する。

### 方法

調査文献は、富山県生物学会の総合調査でアカミミガメが確認された舟川、下条川、山田川、仏生寺川、泉川の報告（福田ら、2012, 2013, 2015, 2016, 2018）、県内の両生類・爬虫類の記録をまとめたものの内、アカミミガメが報告されているもの（森ら、2009, 2010, 2014, 2015, 2016, 2017）、南部（2016）の富山市のアカミミの記録（南部が現地確認し、データを追加した記録）である。これらの文検からアカミミガメの記録を抽出した。なお、同じ場所で、確認年が近いデータがあった場合は、個体数が多いデータを用

いた。また、「河川環境データベース」（国土交通省、2017）による県内1級河川の記録も調査した。

### 結果及び考察

#### 1. 小規模な水域

##### (1) アカミミガメの確認地点

以下に地域ごとに概要を記し、表1に確認された記録、図1に場所を示す。なお、常願寺川本流より東を県東部、西を県西部として扱った。

県東部：県東部からの記録は2地点と僅かで、確認個体数も少なかった。

#### 県西部

富山市：常願寺川下流左岸側の池2ヶ所から僅かな個体が記録されている。神通川下流の右岸側の富岩運河では、上流の環水公園から下流の右岸側で接続する住友運河まで広い範囲で確認され、上流部の環水公園での確認個体数が多かった。神通川右岸支流の松川で1ヶ所、富山市の中心市街地の公園の堀や池2ヶ所でも確認された。神通川

表1 富山県内のミシシippアカミガメの確認地点

地点	年月日	市町	地名	標高(m)	個体数	環境	水辺環境	引用
1	20110805	入善町	棚山の池	306	1	山地、公園	池	福田ら, 2012
2	20150606	魚津市	角川ダム	125	1	山地	ダム	森ら, 2016
3	20121008	富山市	高来	2	2	平地	池	南部, 2017
4	20121008	富山市	平榎	4.5	1	平地	池	南部, 2017
5	20160512	富山市	富岩運河中島開門	3	1	平地	運河	南部, 2017
6	20120728	富山市	住友運河	5	1	平地	運河	南部, 2017
7	20070429	富山市	富岩運河環水公園	6	13	平地、市街地、公園	運河	森ら, 2009
8	20140901	富山市	松川	8.5	1	平地、市街地	川	南部, 2017
9	20120728	富山市	城址公園	7	2	平地、市街地、公園	堀	南部, 2017
10	20120728	富山市	諏訪川原	7	4	平地、市街地、公園	池	南部, 2017
11	20121015	富山市	五福	9.5	1	平地、市街地、公園	池	南部, 2017
12	20121009	富山市	桜谷みどり町	8	1	平地、市街地	川	南部, 2017
13	20121004	富山市	呉羽山公園	20	2	丘陵、公園	池	南部, 2017
14	20150729	富山市	鍛冶川	6	1	平地	川	森ら, 2016
15	20150606	富山市	婦中町羽根	80	1	丘陵、公園	池	森ら, 2016
16	20121014	富山市	割山森林公園	245	1	山地、公園	池	南部, 2017
17	20150927	射水市	下条川	3	6	平地	川	福田ら, 2016
18	20150829	射水市	下条川	7	1	平地	川	福田ら, 2016
19	20150520	射水市	下条川	10	2	平地	川	福田ら, 2016
20	20130920	射水市	足洗湯	2	3	平地、公園	池	森ら, 2014
21	20140401	射水市	海竜町	0	1	平地	水路	森ら, 2015
22	20140404	南砺市	桜ヶ池	230	1	山地、公園	池	福田ら, 2015
23	20091006	高岡市	古城公園	13	10+	平地、市街地、公園	池	森ら, 2010
24	20120929	氷見市	湊川	0	1	平地	川	福田ら, 2013
25	20131007	氷見市	十二町湯	1	4	平地、公園	湯	森ら, 2014
26	20131007	氷見市	朴木川	1	24+	平地	川	森ら, 2014
27	20120929	氷見市	万尾川	3	1	平地	川	福田ら, 2013
28	20130804	氷見市	仏生寺川	3	4	平地	川	森ら, 2014
29	20170528	氷見市	泉川	1	3	平地	川	福田ら, 2018
30	20170312	氷見市	泉川	2	1	平地	川	福田ら, 2018
31	20170924	氷見市	上泉	5	1	平地	用水	福田ら, 2018
32	20170615	氷見市	泉川	7	1	平地	川	福田ら, 2018
33	20170312	氷見市	乱橋池	8	3	丘陵、公園	池	福田ら, 2018
34	20170528	氷見市	島尾大池	10	3	丘陵	池	福田ら, 2018
35	20170528	氷見市	島尾小池	11	2	丘陵	池	福田ら, 2018
36	20170702	氷見市	新池	12	2	丘陵	池	福田ら, 2018
37	20170405	氷見市	大谷池	15	3	丘陵	池	福田ら, 2018

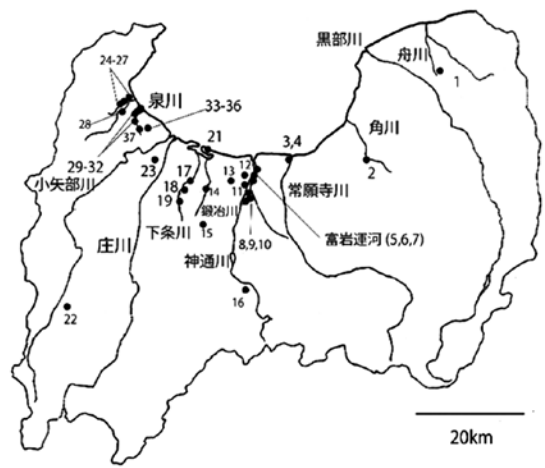


図1 富山県のミシシippアカミガメの分布 (表1より作図)。番号は表1と対応する。

と呉羽丘陵の間では、2ヶ所で、呉羽丘陵では公園の池1ヶ所から確認された。同丘陵西側の川1ヶ所と射水丘陵東端の公園の池1ヶ所で確認された。山地の池1ヶ所からも確認された。

射水市：射水丘陵が源の下条川では、平野部の広い範囲から確認された。海岸近くの足洗湯（池）や水路でも確認された。

高岡市・南砺市：高岡市の市街地にある公園の堀から比較的多くの個体が確認された。南砺市では、桜ヶ池でわずかな個体が確認された。

氷見市：仏生寺川の下流左岸側を流れている湊川、十二町湯、万尾川（左岸支流に朴木川）を、仏生寺川とともに仏生寺川水系と扱った。同水系からは広い範囲で確認され、万尾川支流の朴木川では個体数が多かった。泉川水系では、川や丘陵の池、用水で、個体数は多くはないものの広い範囲で確認された。

(2) アカミガメが確認された地点の環境

アカミガメが確認された全37地点は計25メッシュ（1メッシュは約1×1km）であった。平地、丘陵、山地の内訳は、それぞれ、26地点、6地点、5地点で、平地が70.3%と最も多くを占めた。その内公園は13地点で全地点の34.2%を占め、全てが池と運河であった。確認地点の標高は、10m以下が27地点、11~20mが5地点、80~310mが5地点と、10m以下が73.0%を占めた。水辺環境は、池（堀・湯含む）が18地点、川が13地点、用水（水路含む）が2地点、ダムが1地点、運河が3地点で、池が48.6%、川が35.1%を占め、川と池を合わせると、全体の83.8%を占めた。

2. 大きな河川での記録

「河川環境データベース」（河川水辺の国勢調査）（国土交通省, 2017）の確認年と確認場所を表2に示す。黒部川では確認されず、常願寺川では2010及び2015年に最下流の地点で、神通川では1994、1999、2004、2013年に最下流部で確認されている。庄川では、2001、2008年に中流域から確認されている。小矢部川では、1993、1998、2003、2012年に下流域や中流域で確認されている。

3. まとめ

以上の結果から、近年の富山県では、アカミミ

表2 富山県の1級河川のミシシッピアカミミガメの主な記録  
河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）による（国土交通省, 2017）

常願寺川

年	月	場所	数
2010	5	富山市水橋辻ヶ堂	10
2015	5	富山市水橋辻ヶ堂	6

神通川

1994	5	萩浦橋	1
1999	5	萩浦橋	2
2004	7	萩浦橋	10
2013	6	萩浦橋	1

庄川

2001	6	高岡市三女子	1
2008	6	高岡市三女子	1

小矢部川

1993	5	二上橋	1
1998	6	二上橋	6
1998	10	米島大橋	1
2003	6	茅蝸橋	1
2003	10	二上橋	8
2003	5~6	米島大橋	3
2012	7	米島大橋	3

(注1)黒部川では1997,2002,2012年のいずれの年も確認されず。庄川では1996年,2005年は確認されず。

(注2)地名は、おおまかな場所。

(注3)個体数は、最も多かった調査月。

ガメは、小規模な水域から大きな河川まで、様々な水域で確認されているが、池や小河川の流れの遅い部分、大きな河川の下流域の流れの遅いところでの記録が大部分であった。また、県東部（常願寺川より東）より県西部を中心に広い範囲で確認された。これは県東部の地形が急峻で、アカミミガメの生息に適した川の淀みや平地の池などの止水環境が少ないためだと思われる。小規模な水域では、県西部では、富山市や射水市、氷見市等の広い範囲で確認され、特に同じ水系で広い範囲でみられた場所は、富岩運河（富山市）、下条川（射水市）、仏生寺水系（氷見市）、泉川流域（氷見市）で、個体数が多い地点は、富岩運河環水公園（富山市）、古城公園（高岡市）、朴木川（氷見市）であった。平地の公園の池でも確認された。アカミミガメが確認された場所は、人が行き易く遺棄されやすい場所であると思われる。まだ確認されていない場所があると思われ、また、今後も遺棄され、分布域が増える可能性もあり、平地を中心とした池や川での情報収集が必要と思われる。

謝 辞

河川環境データベースの引用についてご教示いただいた、国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所に感謝申し上げます。

引用文献

- 福田 保・南部久男. 2012. 舟川の両生・爬虫類. 富山の生物, 51: 41-44.
- 福田 保・澤田研太・堺 康浩・南部久男. 2013. 仏生寺川の両生類・爬虫類. 富山の生物, 52: 45-52.
- 福田 保・澤田研太・南部久男. 2015. 山田川流域の両生類・爬虫類. 富山の生物, 54: 73-79.
- 福田 保・澤田研太・南部久男. 2016. 下条川流域の両生類・爬虫類. 富山の生物, 55: 41-46.
- 福田 保・澤田研太・亀谷三志・南部久男. 2018. 泉川流域の両生類・爬虫類. 富山の生物, 57: 40-42.
- 国土交通省. 2017. 河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）. <http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/index.html>. 2017年12月30日閲覧.
- 森 大輔・南部久男・福田 保・後藤優介・加藤智樹・荒木克昌. 2009. 富山県における両生類・爬虫類の記録（2006～2008年）富山の生物, 48: 83-90.
- 森 大輔・南部久男・福田 保・後藤優介・加藤智樹・荒木克昌. 2010. 富山県における両生類・爬虫類の記録（2009年）. 富山の生物, 49: 63-66.
- 森 大輔・南部久男・澤田研太・福田 保・後藤優介・荒木克昌. 2014. 富山県における両生類・爬虫類の記録（2013年）. 富山の生物, 53: 69-74.
- 森 大輔・南部久男・澤田研太・福田 保・後藤優介・荒木克昌. 2015. 富山県における両生類・爬虫類の記録（2014年）. 富山の生物, 54: 107-114.
- 森 大輔・南部久男・澤田研太・福田 保・荒木克昌・草間 啓. 2016. 富山県における両生類・爬虫類の記録（2015年）. 富山の生物, 55: 85-90.
- 森 大輔・草間 啓・澤田研太・白石俊明・南部久男・福田 保・荒木克昌. 2017. 富山県における両生類・爬虫類の記録（2016年）. 富山の生物, 56: 92-97.
- 南部久男. 2017. ミシシッピアカミミガメ. pp.34-35. 富山市の身近な自然調査2012～2016報告書. 富山市科学博物館.